

良識ある保守主義・情報公開

# 吉田つとむ

町田市議会議員 (4期連続トップ当選)

<編集発行>

〒194-0011 町田市  
成瀬が丘 1-14-12  
サンホワイト E103-13  
自宅 042-795-7361  
FAX 042-795-2726  
yoshidaben@gmail.com



## TOTO 本社ミュージアムを見学

衛生陶器の代表的な企業で、「洋式トイレ」の製造で有名な会社、TOTOの本社工場(北九州市)に付属したミュージアムを訪れました。



本来は海外で商品開発された洗浄便座ですが、家庭のトイレに温水洗浄便座が普及するきっかけになったのは、TOTOの「ウォシュレット」の開発・販売であり、「お尻だって、洗ってほしい」のコミーシャルも伴って、「ウォシュレット」の普及が日本のトイレ文化を変え、なくてはならないものに進展し、今や世界トップのトイレ文化を生み出しています。

とにかく、100年間に製造した「トイレ」のオンパレードであり、じっくり見れば、終日を要するでしょう。その製品は王宮から国会議事堂、方や一般家庭まで必需品であり、かつ、一様に文化水準を向上させた企業として、このTOTOは特記すべき業績を上げ、新種を作り続けていました。その起源は、森村組と言い、陶器の製造・輸出に取り組み(後のノリタケ)、その中で衛生陶器の開発に特化したのがTOTOの前身である東洋陶器であり、そうした企業の分離・独立を促進する風土が、企業グループの広がり、トップ企業に成長する道を培っていると思いました。

## インターン体験記⑦岡本 麻鈴

町田市議会の議員一般質問に関して、傍聴側から、会派「無所属」のお三方の議会での特徴について述べていきます。まず、吉田つとむ議員の特徴としてアドリブが多いと感じました。質問の原稿はあっても質疑にはほとんどアドリブでなされていました。回答者が回答原稿を用意していても追加での質問をされる可能性もある為、回答者のアドリブ力には注目でした。

次に、松岡みゆき議員の特徴として、一般質問の通告内容が自身の体験談を交えながら発言されていました。体験談があることによって同じ悩みを持った市民の声に寄り添いやすく、強い根拠が得られるため、よりよい街づくりをしていかれると感じます。最後に、新井よしなお議員の特徴として、市民の声とその対応が合致しているのかについて細かく質問をされていました。回答者にハッキリと言及させようという意思を感じられました。

3議員の特徴として、市民の声に寄り添うことを大事にしていると感じました。今後も市民に寄り添いながら、理想とする街づくりをしていただきたいです。



玉川大学新1年生 岡本 麻鈴(第49期生)

- ◎所属会派の名称はシンプルに「無所属」とし、3名の議員で構成しています。
- 支持政党なしの方々の代表=吉田つとむの基本理念は、良識ある保守主義です。
- 吉田つとむは、「若者育成」をトップの政策に掲げています。

●吉田つとむは令和4年2月、市議会議員選挙4期連続のトップ当選となっています

若い世代の育成に全力をささげる  
町田市議会議員(4期連続トップ当選)

# 吉田つとむ



ブログ 個人HP



メールは  
左記を読込  
して送信



好評インターンシップは、間もなく第50期生がスタート

## インターン体験記④⑤岡本麻鈴

4つの常任委員会の傍聴を行いました。一般質問とは違い、質疑応答が少なく報告だけの委員会会議もあったので理解に苦しむこともありましたが、私は、文教社会常任委員会で学校関連についての会議が、学生の私にも他人事ではないので関心を持ちました。この会議では、不登校生徒の増加や教職員の多忙化といった課題解決に向けての対策が話し合われていました。すでに課題解決に向けて動き出している政策もありましたが、会議を傍聴したことによって、町田市の教育との向き合い方を知ることが出来ました。文教社会常任委員会だけではなく、健康福祉常任委員会では請願の場を傍聴することが出来、この会議で町田市がどのような街づくりをしていくのか楽しみになりました。

今回、旧白洲邸武相荘に行きました。自然に囲まれた白洲邸は茅葺き屋根で囲炉裏もあり、すごく落ち着く場所でした。室内ではたくさんの工芸品や織物がありましたが、保管がいいのか綺麗で古さを感じませんでした。期間限定でひな壇を見ることが出来ました。

私は、今回の訪問で初めて白洲次郎さん・正子さんを知りました。日本国憲法の成立に深く関わり、いくつもの会社の経営に携わり、晩年までポルシェを乗り回していたという次郎さんとその妻である正子さんは文学・骨董の世界で多くの作品を残したということを知り、勉強になりました。



玉川大学新1年  
岡本 麻鈴  
(第49期生)



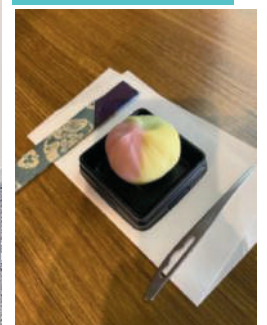
## インターン体験記⑥柳原桃花

今回は、町田市の文化交流センターで開かれている、町田茶道会のお茶席に参加しました。お茶券と呼ばれるチケットを購入し、向かったのは石井宗眞茶室です。茶道室には、千利休の掛け軸や、椿などの花が生けられていて、静かで落ち着いた味わいのある場所でした。私たちは、普段着で参加させていただきましたが、着物を着て参加されている方が多く、扇子や袱紗など、特別な持ち物があるようでした。

参加者全員が集まってから、皆で正座をし、先生が茶室にあるものについて説明をしてくださいました。その後、実際にお茶を立てるところを見せていただきました。その様子を初めて見る事ができ、とても感慨深かったです。茶室を出た後、和菓子と実際に立てたお茶をいただくことができました。普段、ペットボトルなどから、飲んでいるようなお茶とは違い、渋さのないまろやかな苦みを味わうことができ、感動しました。和菓子もとても美味しかったです。いつか着物をきて、また参加してみたいなと思いました。



専修大学新3年生  
柳原 桃花  
(第49期生)



◎吉田つとむのインターンシップは1998年に開始、2022年3月より49期生がスタート中です。

◎インターン生に政治活動の参加は一切求めず、あくまで社会勉強・見学のメニューです。

◎次期インターンシップの実施時期は、学生の夏季休暇期間となります。現在、受付中です。